Course title (and course title in English) ILAS Seminar :Introduction to Italian Literature ILAS Seminar :Introduction to Italian Literature Instructor's name, job title, and department of affiliation Graduate School of Letters Associate Professor, MURASE YUU. Number of weekly time blocks Class style Seminar Class style Seminar Year/semesters 2025・First semester Quota (Freshman) 6 (6)	Course number		U-LAS70 10001 SJ50								
Group Seminars in Liberal Arts and Sciences Number of credits 2 weekly time blocks 1 Class style seminar Vegr/semesters 2025 - First semasters Quota	(and course title in	(and course ILAS とミケー・イタリア文字八寸 ILAS Seminar :Introduction to Italian rate									
	Group	Semina	eminars in Liberal Arts and Sciences Number of credits 2				2	١	weekly 1		
(Face-to-face course) 10al/sellistics 2023 11st sellicster (Freshman) 0 (0)	Class style			course) Year/semes		2025 • First semest			Quota (Freshman)		(6)
Target yearMainly 1st year studentsEligible studentsFor all majorsDays and periodsTue.5	Target year Mair		y 1st year students Eligible student		nts Fo	For all majors				Tue.5	
Classroom (Main Campus) Language of instruction Japanese	Classroom	(Main Campus)						Language of instruction Japanese			ese
Keyword ヨーロッパ文学関連 / ダンテ / 『神曲』 / イタリア文学 / 物語	Keyword	ヨーロッパ文学関連 / ダンテ / 『神曲』 / イタリア文学 / 物語									

[Overview and purpose of the course]

西洋を代表する詩人ダンテ・アリギエーリ(1265-1321)の『神曲』を読みながら、西洋文化とイタリア文学にかんする基礎知識を習得します。

ダンテの『神曲』は後世のヨーロッパの文学・文化に大きな影響を及ぼした作品であり、今日でも世界中で読み継がれ、また盛んに研究が行われています。その魅力は、作品全体の構成から詩行の一言一句にいたるまで、多岐にわたります。詩人その人が地獄・煉獄・天国を巡るという壮大な設定が読者の興味をかきたてると同時に、実際にその場を見てきたかのような細部のリアルな描写が読む者の心をとらえます。

授業では、この作品(日本語訳)の「地獄篇」を中心に、重要なトピックを紹介しながら作品を 読んでいきます。

毎回簡単なテーマを提示して、出席者に調査・発表をしてもらう予定です。この作業を通して西洋文化とイタリア文学についての基礎的な素養を身につけることが授業の目的となります。なお、この授業に参加するにあたってイタリア語の知識は必要ありません(興味のある方は、ぜひ初修外国語のイタリア語初級を受講ください)。

[Course objectives]

- ・西洋文化の基礎知識を身につける。
- ・ダンテ『神曲』について理解を深める。
- ・課題の調査と発表を通して、資料の収集、提示の仕方を体得する。
- ・アカデミックなレポートの形式(註・参考文献、引用の仕方など)になれる。
- ・イタリア語とイタリア詩について基礎的な知識を得る。

[Course schedule and contents)]

|第1回 イントロダクション(授業の進め方などを説明)

第2回~14回 以下のテーマについて調査・発表・検討・説明を行う。

- ・西洋文化の二つの源泉(ギリシア・ローマ神話と『聖書』)
- ・西洋における詩・文学の目的
- ・ダンテの伝記情報と同時代のフィレンツェの状況
- ・『神曲』の構成について
- ・『神曲』のイタリア語原文と詩形について

Continue to ILASセミナー : イタリア文学入門(2)

ILASセミナー : イタリア文学入門(2)

- ・詩形は何の役に立つ?
- ・アレゴリーについて
- ・登場人物について
- ・ダンテの技法 比喩について
- ・ダンテの技法 登場人物の対話について
- ・ダンテの技法 語り口について
- ・『神曲』のリアリズム
- ・『神曲』 (La divina commedia)というタイトルについて

第15回 フィードバック

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

平常点とレポートで評価する。内訳は授業への積極的な参加(30点)、課題の発表(40点)、レポート(30点)

[Textbooks]

Instructed during class

『神曲』「地獄篇」の翻訳を各自で用意しましょう。和訳は数種類刊行されていますが、とりあえずは自分の気に入ったものでかまいません。適宜、プリント資料を配布します。

[Study outside of class (preparation and review)]

・授業で取り上げるトピックについて、発表予定者はもちろんそれ以外の参加者も積極的に下調べ をしましょう。

[Other information (office hours, etc.)]

[Essential courses]